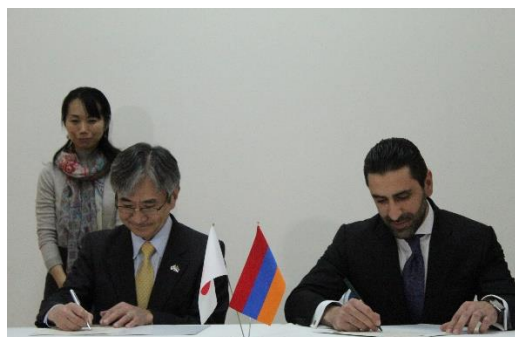


令和元年度 草の根・人間の安全保障無償資金協力
「障がい児支援のための感覚統合ケアサービス整備計画」
署名式の実施

令和元年12月13日、日本の草の根・人間の安全保障無償資金協力の枠組みによる「障がい児支援のための感覚統合ケアサービス整備計画」（贈与金額：46,213米ドル(5,083,430円)の署名式典がエレバン市のエレバン・マイラブ財団において開催されました。

本署名式では、山田在アルメニア日本国大使と被供与団体であるエレバン・マイラブ財団のカラペチャン代表が贈与契約に署名しました。同署名式にはヌネ・サルキシヤン・アルメニア大統領夫人及びバトヤン労働・社会問題相の他、同財団のスタッフ及びそのリハビリセンターに通う児童及びその家族が出席しました。

同計画は、感覚統合治療用リハビリ機材を被供与団体のリハビリセンターに導入し、作業療法士他専門家ケアスタッフが心身発達障がい児に感覚統合ケアサービスを実施することで、身体機能回復能力の高いリハビリ・治療が提供され、社会的適応・自立を促進し、児童及び家族の生活の質の向上に寄与するものです。これにより、同施設を利用している障がい児約200人(年間)とその家族が裨益することが見込まれています。



贈与契約に署名する山田大使と
エレバン・マイラブ財団のカラペ
チャン代表



カラペチャン代表による歓迎
の挨拶



祝辞を述べる山田大使



祝辞を述べるバトヤン労働・
社会問題相



式典に参加した賓客：サルキシヤン・アルメニア大統領夫人（写真中央）及びバトヤン労働・社会問題相，山田大使



山田大使とルース・リハビリセンターの子供たち



コミタスの歌を披露するルース・リハビリセンターの子ども



式典の閉会の際にクリスマス・ツリーにデコレーションを飾る



ルース・リハビリセンターの子供たちとともにクリスマス・ツリーにデコレーションを飾るサルキシヤン・アルメニア大統領夫人